

事業番号	11 10 01	事業改善シート（令和元年度実施事業分）	当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	県営住宅整備・管理事業		部局	建設部	課・室	建築住宅課公営住宅室
			実施期間	S24～	E-mail	jutaku@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標						
総合的に展開する重点政策	3-5 市街地の活性化と快適な生活空間の創造		5-1 多様性を尊重する共生社会づくり			
	5-4 若者のライフデザインの希望実現					

## 1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	<b>【現 状】</b> ○147団地14,916戸（H31.4.1現在）を管理しており、昭和40年代以前の建設戸数が半数（51.1%）、耐用年限を経過が3割（30.9%）を占めるなど老朽化が進み、居住環境の速やかな改善と管理戸数の適正化が必要 ○人口減少・高齢化が進行中、低額所得者、高齢者、子育て世帯などの居住ニーズは多様化しており、住まいのセーフティネットとして公営住宅の役割は依然重要 <b>【目指す姿】</b> ○「県営住宅プラン2016」に基づき、将来の公営住宅の必要戸数を踏まえつつ、「県営住宅『5R』プロジェクト」及び適切な維持管理を推進し、入居者の安心・安全で快適な暮らしを確保する。 ○計画的な修繕・点検によるストックの長寿命化、福祉施策との連携、家賃収納率の向上等により、的確かつ公正・公平な県営住宅管理に努める。 <b>【実施内容】</b> 建替、バスリフォーム、子育て世帯向けリノベーション、集約・移転、県営住宅管理業務 など							
	指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]							
	No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値	達成状況	事業コスト 区分(単位:千円)   H30年度   R1年度 前年度繰越   80,466   37,601 現計予算   3,633,550   4,257,926 合計(A)   3,714,016   4,295,527 うち一般財源   804,991   1,060,459 決算額(B)   3,594,447   4,109,005 職員数(人)   24.75   26.75
1	建替着手戸数	57戸	21戸 ↘	24戸 ↗	24戸	達成		
2	バスリフォーム住戸（中高層住宅）（設置戸数）	80.7% (244戸)	84.7% ↗ (245戸)	87.9% ↗ (260戸)	240戸	達成		
3	子育て世帯向けリノベーション整備戸数	2戸	6戸 ↗	6戸 →	6戸	達成		
4	現年度分家賃収納率	98.5%	98.5%→	98.5%→	前年度を上回る	未達成		
5	滞納繰越分家賃の収入未済額	136,601千円	135,256千円 ↗	136,176千円 ↘	前年度を下回る	未達成		
成果指標設定理由	1～3 「県営住宅プラン2016」の『5R』プロジェクトにおける取組目標より算出 4・5 県営住宅管理における公正性・公平性の観点から指標として設定							
達成状況の分析	1・2 入居者の意向確認を事前に行うなど事業実施に向かた丁寧な調整により、着実に事業を推進 3 対象団地の厳選することにより、計画どおりに事業実施 4・5 低所得者を取り巻く雇用環境の厳しさ等から、収納率、収納未済額ともに目標値を達成できなかった。							

主な取組	<b>✓ リノベーション事業 &lt;Renovation&gt; 県営住宅『5R』プロジェクト</b> ・一般公募により選考したプランをもとに、古い県営住宅を子育て世帯、ひとり親世帯向けにリノベーション ・広報誌や説明会など子育て世帯に向けた広報、市町村への事業紹介・普及による誘導	
		<b>【子育てへの配慮】</b> ・子どもを見守りながら家事ができる対面キッチン ・家族団らんの広いリビングダイニング ・ベビーカー置場の設置など子育てに配慮した間取り ・感電防止のコンセント採用など子どもの安全への配慮
	<b>✓ リニューアル事業 &lt;Renewal&gt; 県営住宅『5R』プロジェクト</b> ・今後も維持が必要な老朽低層住宅について厳選してリニューアル（全面的リフォーム）	
		柱や梁などの主要構造部を活かし、外断熱・複層ガラスによる省エネ性能の向上、バリアフリー化など内外装を含め全面的に改修

## 2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	○住戸の老朽化が進んでいることから、居住環境の速やかな改善と、管理戸数適正化を進める必要がある。 ○家賃の収入未済については、公平性や財源確保の観点から、個別の事情を考慮しつつ、引き続き縮減に取組む必要がある。	○「県営住宅『5R』プロジェクト」の更なる推進（居住環境の改善を進めるとともに、地域の需要を踏まえた住棟・団地の集約化等により、管理戸数の適正化を図る。） ○滞納発生の早い段階で滞納者や連帯保証人と連絡を取りつつ、個々の状況を的確に把握した滞納整理を実施する。また、誠意のない悪質な滞納者に対しては、明渡請求や支払督促等の法的措置を講ずる。

事業番号	11 10 01	細事業一覧（令和元年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	県営住宅整備・管理事業		部局	建設部	課・室	建築住宅課公営住宅室

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
1	県営住宅『5R』プロジェクト推進事業費	1,669,890 千円	1,767,083 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	リノベーション事業	直接	子育て世帯やひとり親世帯等が「住みたくなる」県営住宅にリノベーション工事の実施（4団地6戸）
2	バスリフォーム事業	委託	入浴設備のない住宅へのユニットバス等の設置（260戸）
3	リニューアル事業	直接	老朽化した低層住宅のリニューアル（全面的リフォーム）工事の実施（2棟10戸）
4	建替事業	直接	市町村協議の整った団地の建替えの実施（2団地45戸建設等）
5	再編事業	直接	居住環境が整った団地への集約移転（156戸）及び、老朽化した住宅の除却工事（10棟62戸）の実施

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
2	県営住宅管理事業費	1,924,557 千円	2,341,922 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	県営住宅管理業務	直接・委託	県営住宅の入退去事務、設備の保守点検、家賃収納等を実施 管理戸数：14,916戸（147団地）（H31.4.1現在） 直接管理：建設事務所(木曾、大町、北信の3地区/947戸(15団地)) 委託管理：長野県住宅供給公社に委託(佐久、上田、諏訪、伊那、飯田、松本、長野の7地区/13,969戸(132団地))
2	県営住宅修繕業務	直接・委託	老朽化に伴う計画修繕（外壁・屋根塗装等）、一般修繕（壁等の損傷、設備修繕）及び退去修繕により良質な住環境を維持
3	令和元年東日本台風（台風第19号）により損傷を受けた県営住宅の修繕	直接・委託	令和元年東日本台風（台風第19号）により損傷を受けた県営住宅の敷地内の汚泥処理、住戸内の内装等修繕、建設設備の復旧を実施（相之島団地、他4団地）